

令和5年度 週休2日試行工事に関するアンケートの結果（元請会社）

- ・ 令和5年度にしゅん功した工事を対象
- ・ 元請会社 35社が回答

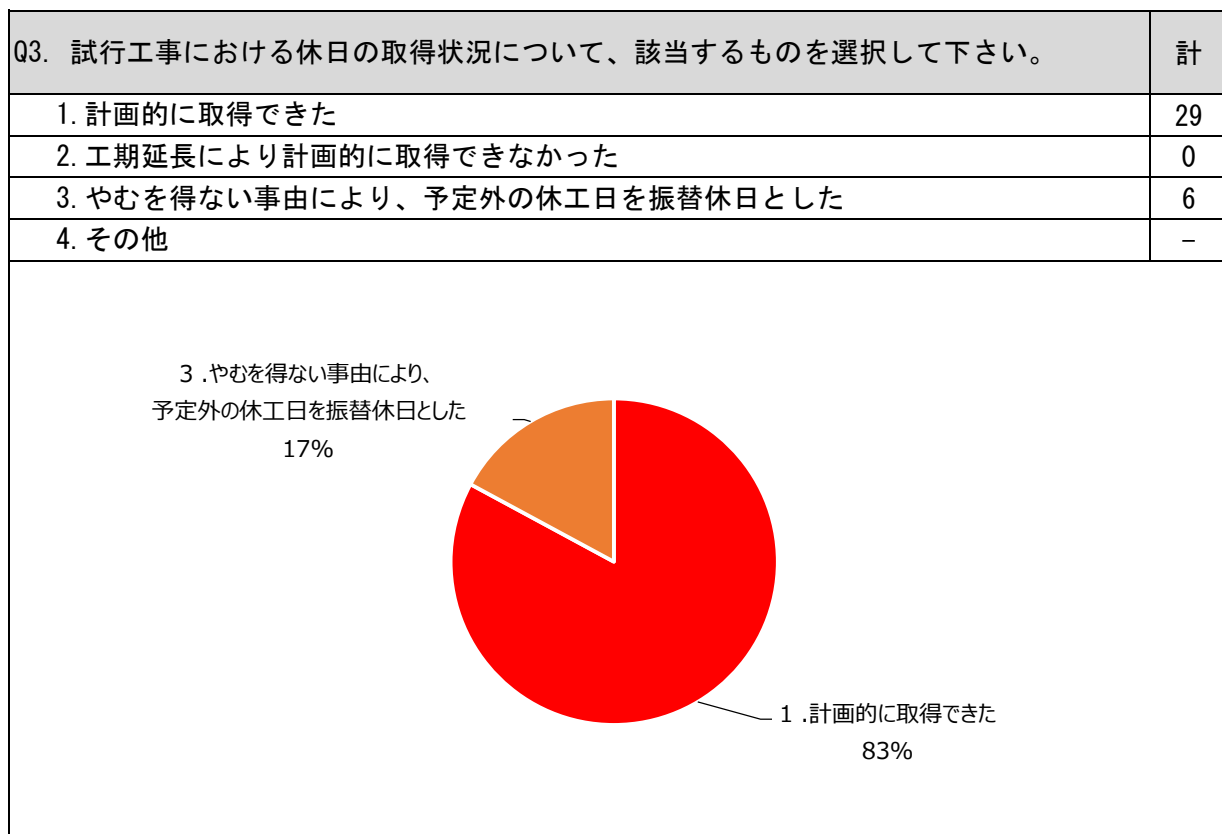
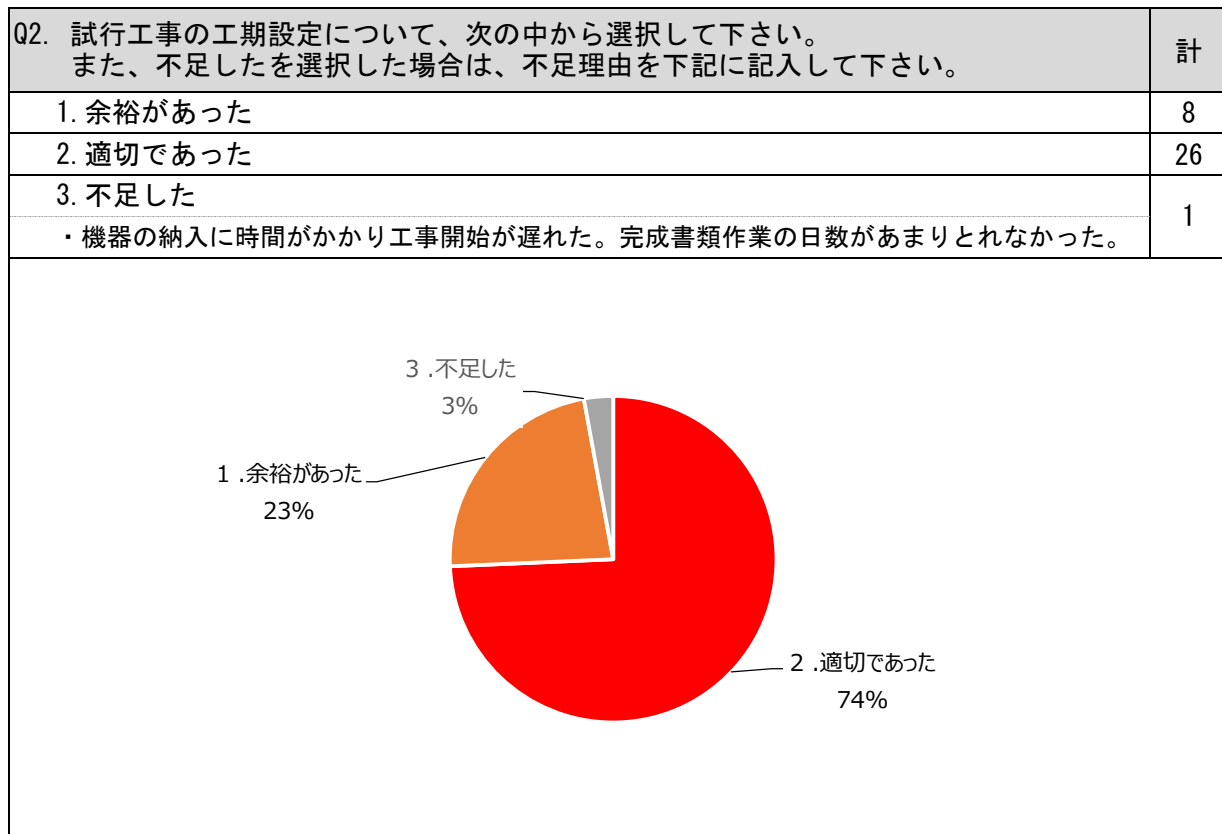
【基本情報】

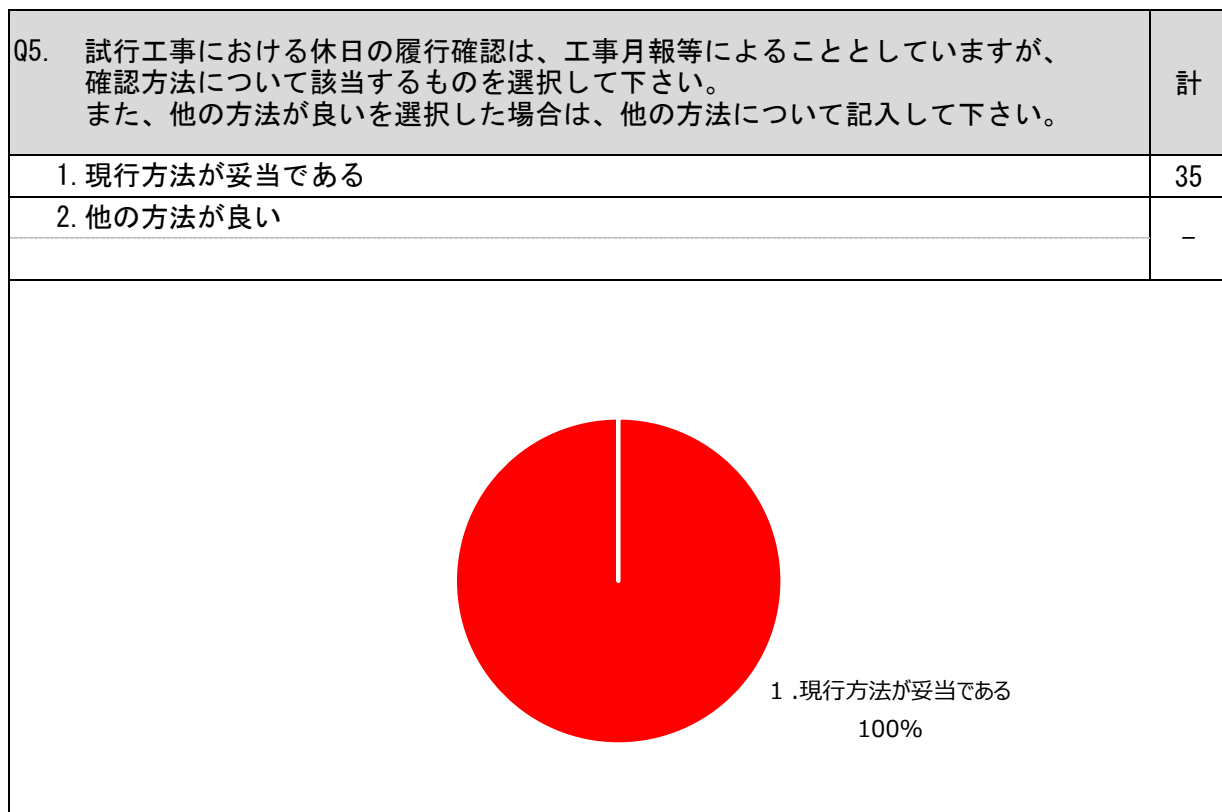
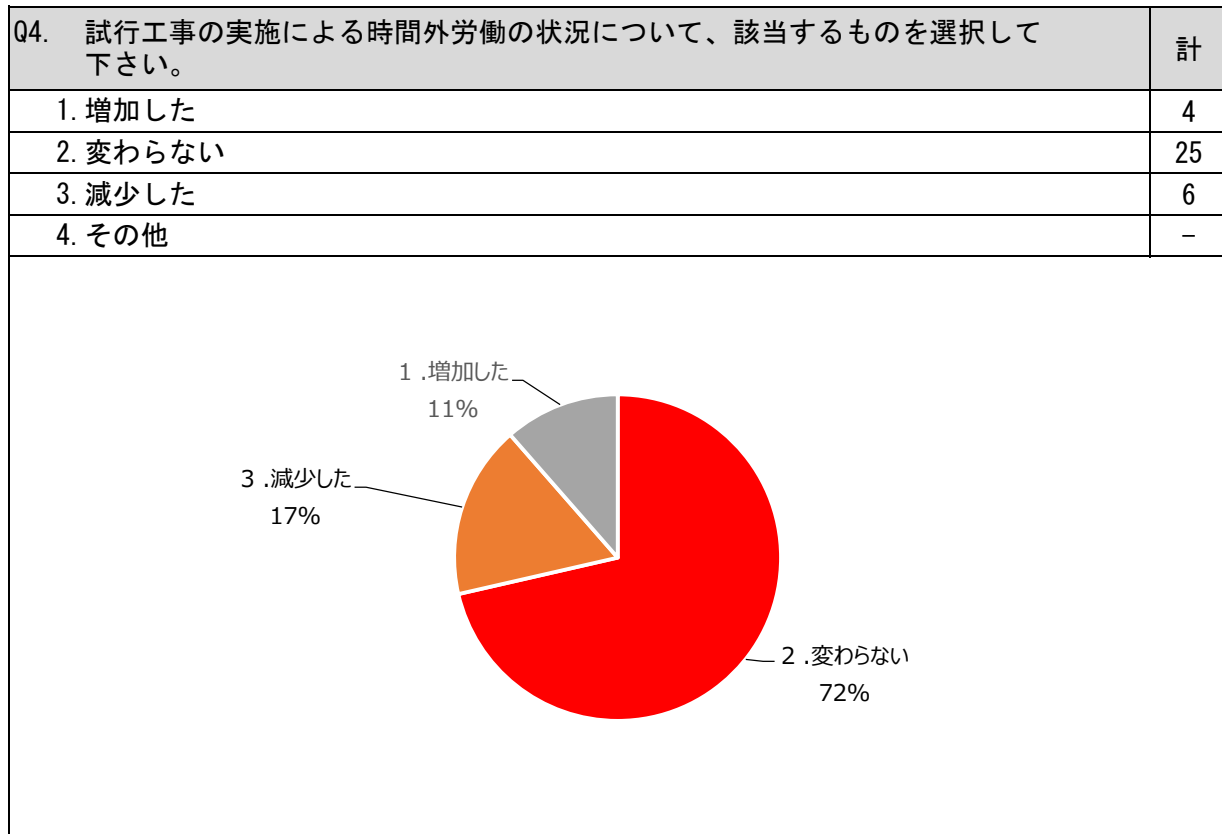
貴社の就業規則で定めている休日について、該当するものを次の中から選択して下さい。	計
1. 完全週休2日制	16
2. 4週8休制	13
3. 4週6休制	3
4. 4週4休制	1
5. その他	2
・ 変形労働時間制 ・ 社内年間休日カレンダー（年間休日106日）	

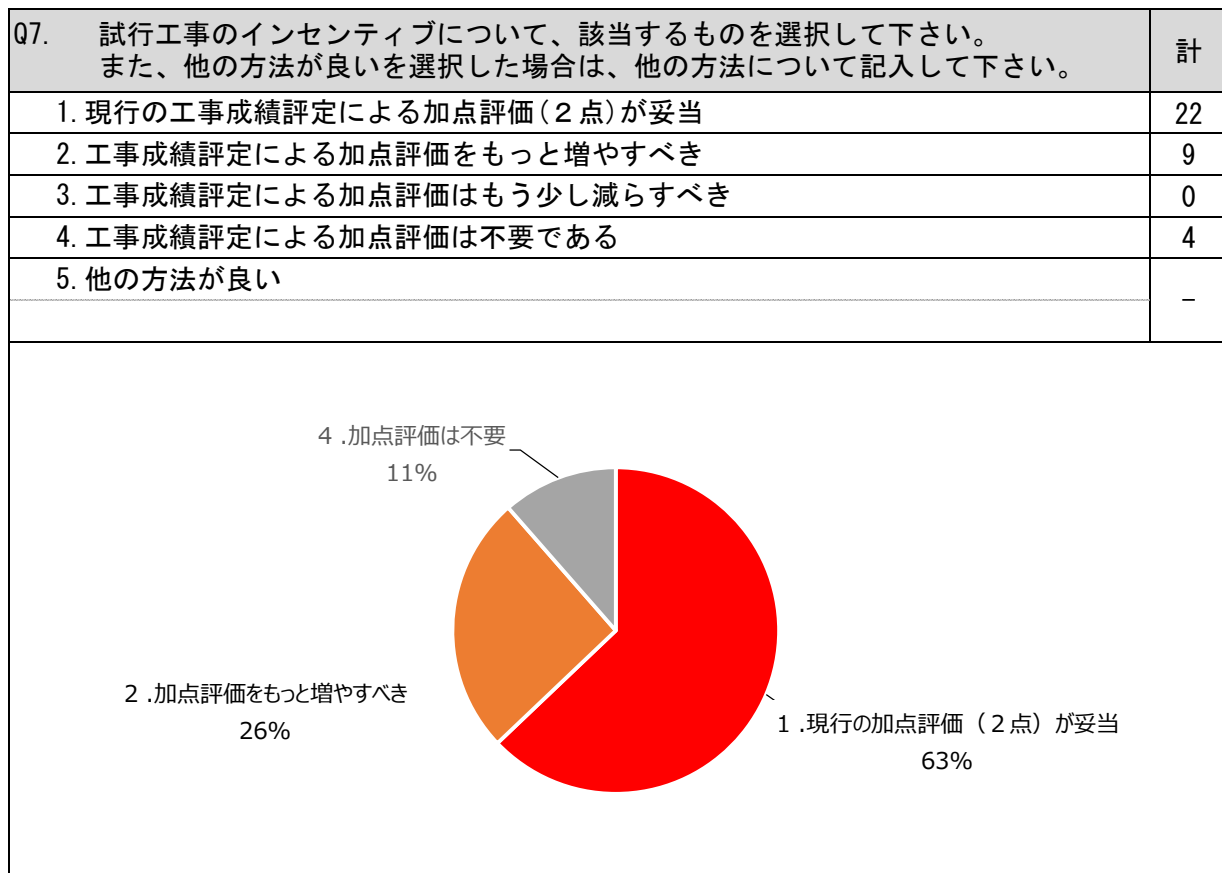
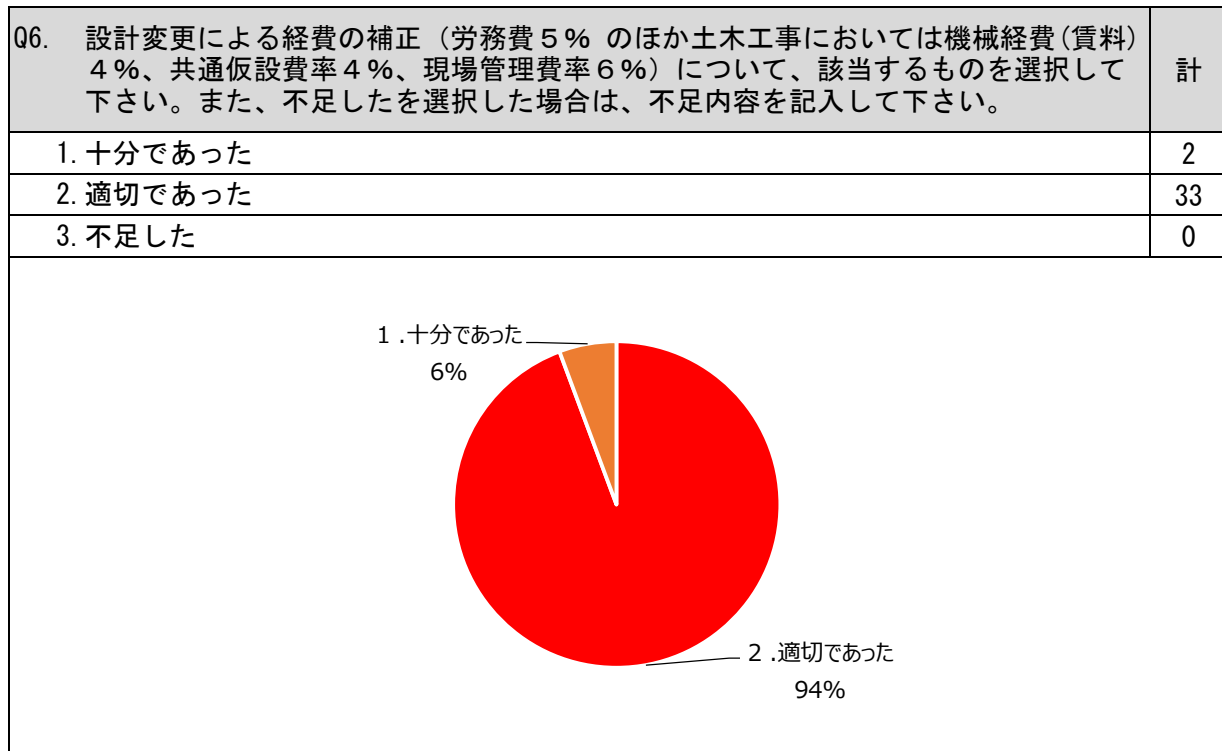
項目	割合
1. 完全週休2日制	46%
2. 4週8休制	37%
3. 4週6休制	8%
4. 4週4休制	3%
5. その他	6%

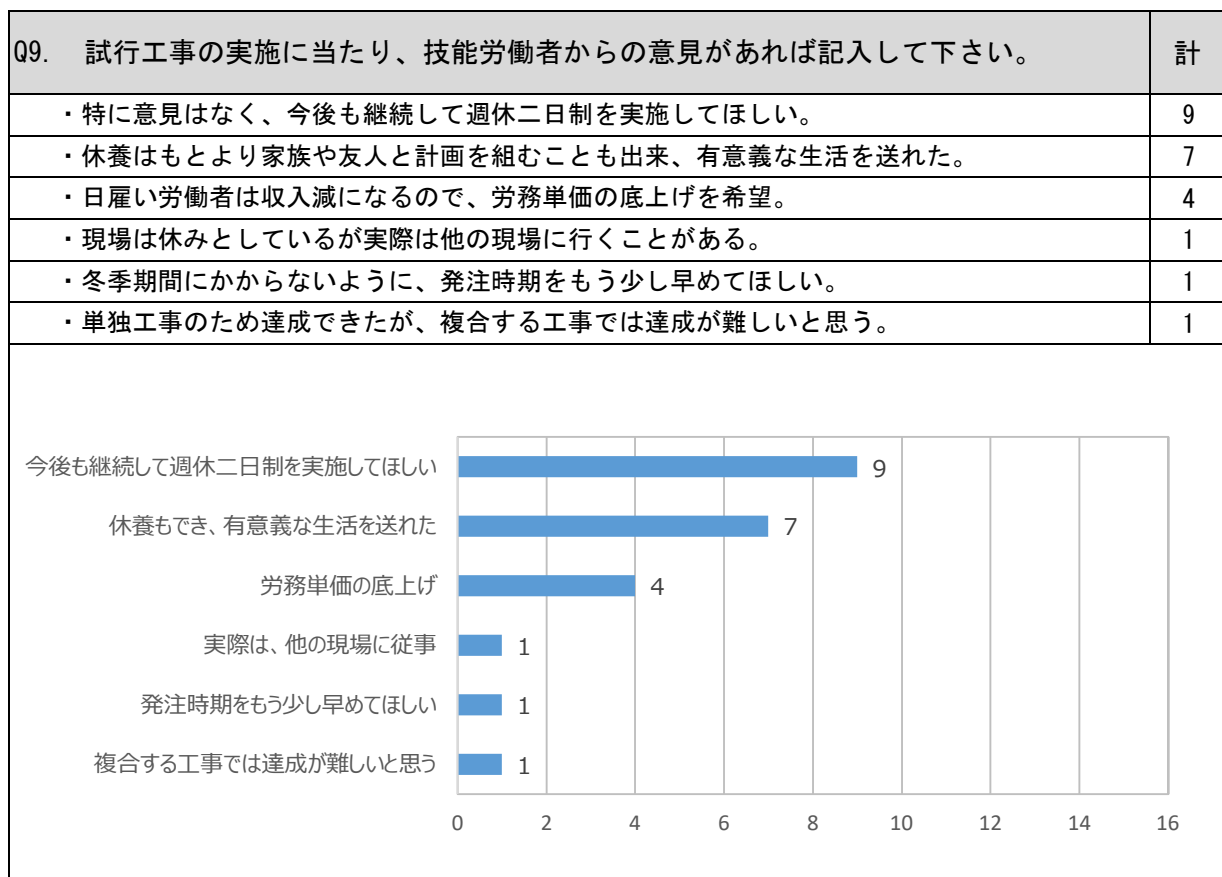
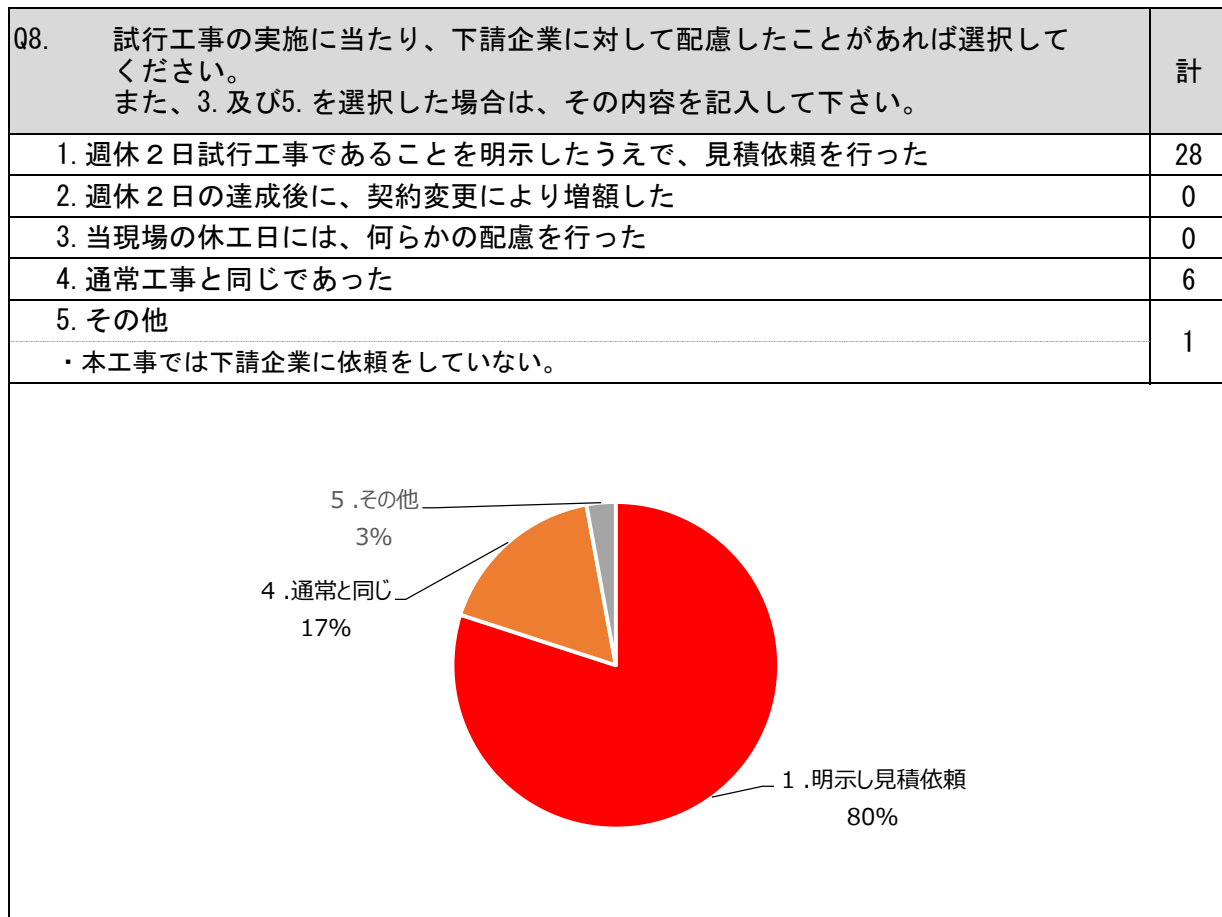
Q1. 試行工事の実施状況を次の中から選択して下さい。	計
1. 実施し、4週8休を履行できた	35
2. 実施したが、4週8休を履行できなかった	0
3. 実施しなかった	0
4. その他	-

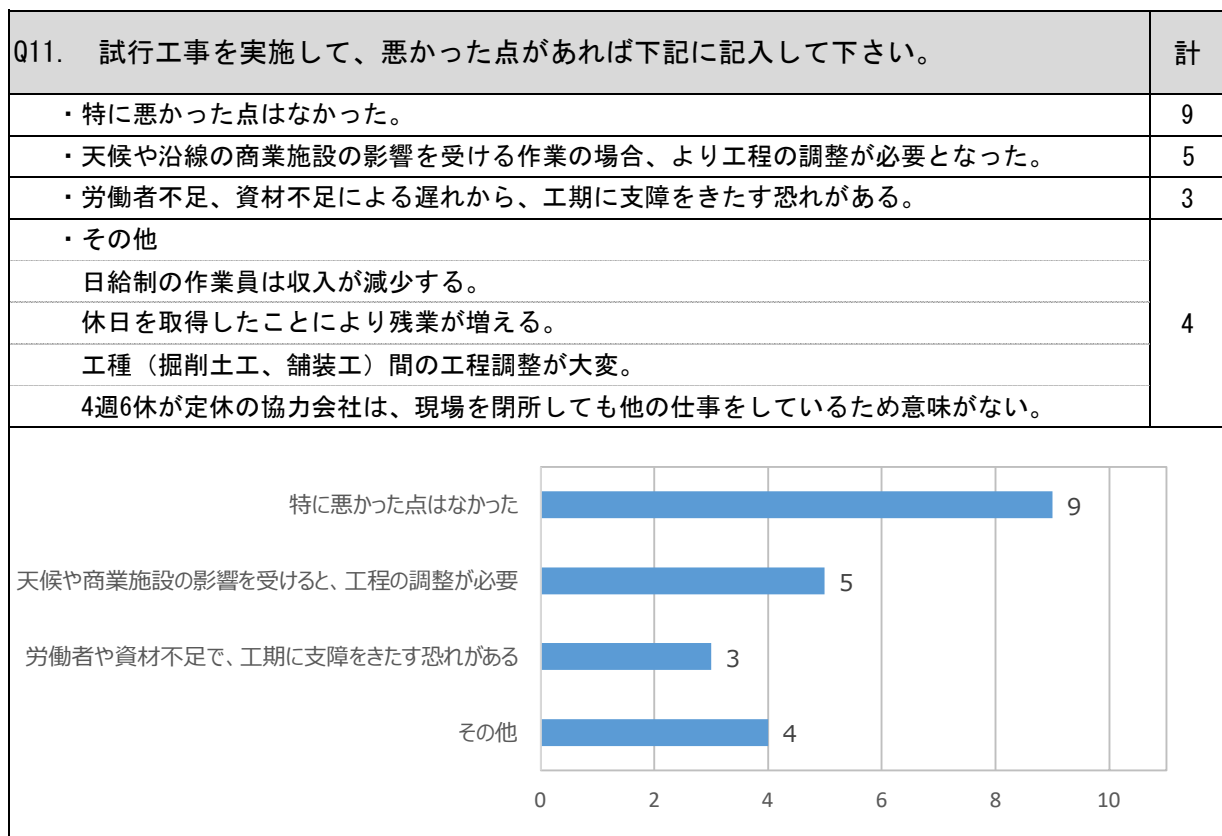
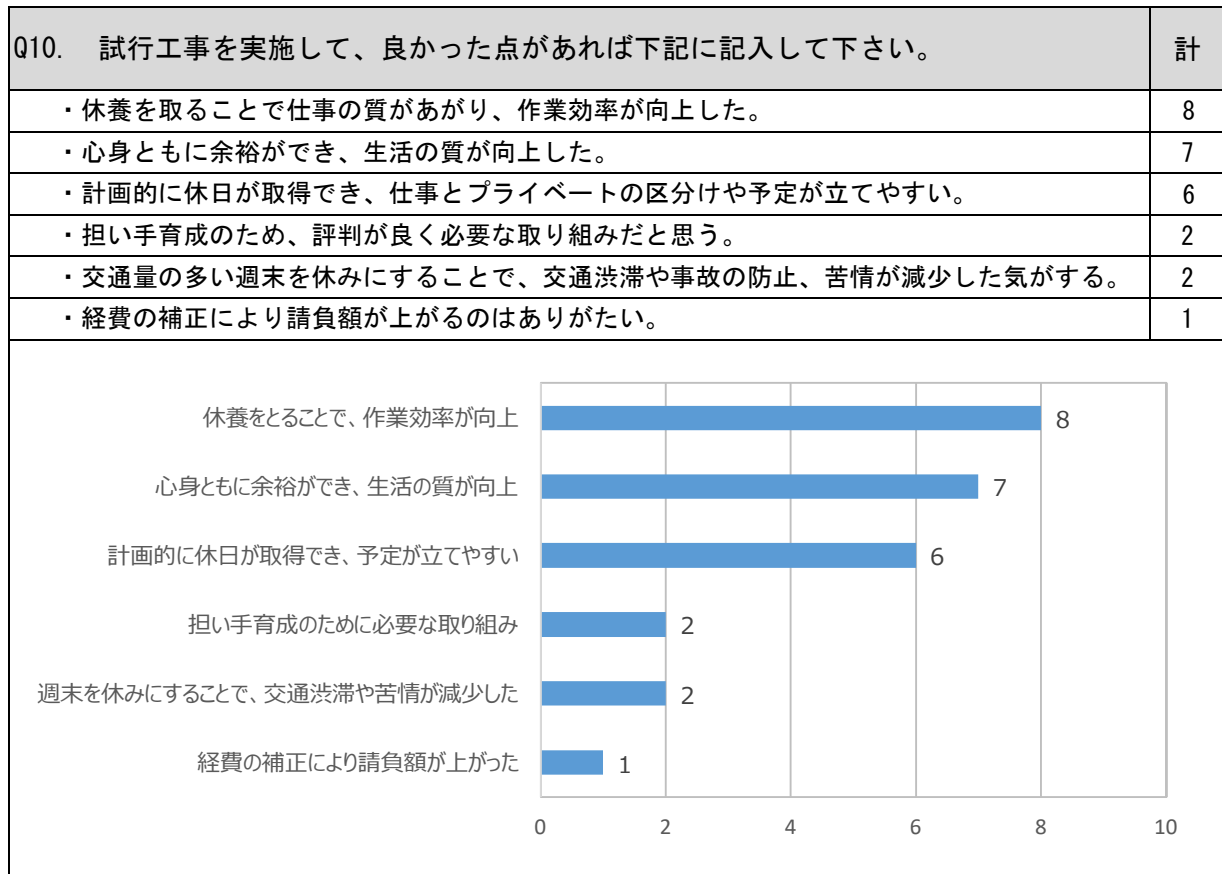
項目	割合
1. 4週8休を履行できた	100%

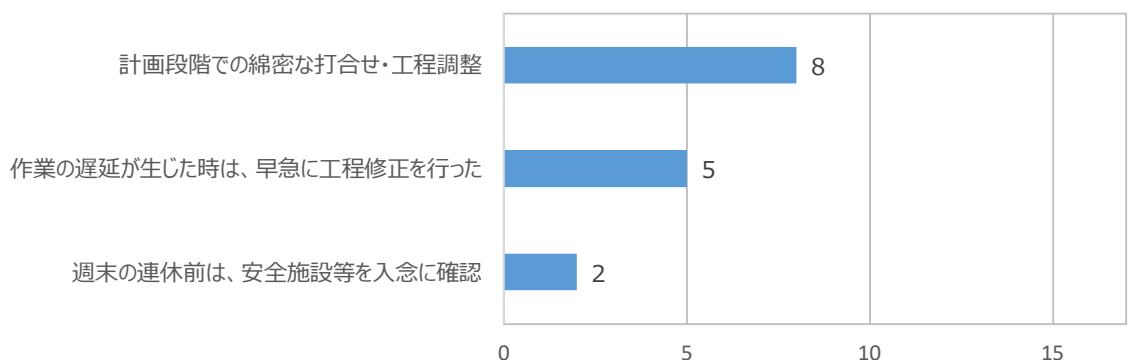










Q12. 試行工事を実施するに当たって、工夫したことがあれば下記に記入して下さい。	計								
・計画段階で下請業者と密な打合せや工程調整を行い、余裕のある施工が出来るように務めた。	8								
・悪天候による休工や作業の遅延が生じた時には、早急に工程修正を行った。	5								
・土日が休日であることの周知と、連休前は安全施設や路面状況の確認を入念に実施。	2								
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工夫した点</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画段階での綿密な打合せ・工程調整</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>作業の遅延が生じた時は、早急に工程修正を行った</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>週末の連休前は、安全施設等を入念に確認</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		工夫した点	回数	計画段階での綿密な打合せ・工程調整	8	作業の遅延が生じた時は、早急に工程修正を行った	5	週末の連休前は、安全施設等を入念に確認	2
工夫した点	回数								
計画段階での綿密な打合せ・工程調整	8								
作業の遅延が生じた時は、早急に工程修正を行った	5								
週末の連休前は、安全施設等を入念に確認	2								

Q13. 試行工事を実施したが履行できなかった場合 結果はどのような状況でしたか。	計
1. 4週7休であった	－
2. 4週6休であった	－
3. 4週5休以下であった	－
※ 回答いただいた全ての工事が 「4週8休以上」を達成 したため、該当なし	

Q14. 試行工事を実施したが履行できなかった理由について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能） また、その他の要因によるを選択した場合は、要因を記入して下さい。	計
1. 自社都合により途中で辞退した	-
2. 工事内容に変更が生じたため	-
3. 地元調整に時間を要したため	-
4. 関係機関の調整に時間を要したため	-
5. 異常気象対応に時間を要したため	-
6. 関連工事との工程調整による	-
7. 工事を中止（一部中止含む）したため	-
8. 施工機械の待機日数増等による費用増のため	-
9. 技能労働者の給与水準を確保するため	-
10. 技能労働者の確保が困難になったため	-
11. 時間外労働が増加したため	-
12. その他の要因による	-
※ 回答いただいた全ての工事が 「4週8休以上」を達成 したため、該当なし	

Q15. 試行工事を希望しなかった（辞退した）理由について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能）	計
1. 試行工事の工期設定が不足	-
2. 自社都合により工事期間を短縮する必要があった	-
3. 下請会社の休日調整が困難	-
4. 経費の補正額が不足	-
5. 人員的に社内体制が整っていない	-
6. 技能労働者の給与水準を確保するため	-
7. 技能労働者の確保が困難なため	-
8. その他の理由	-

※回答なし

Q16. 今後、どのような工事が試行工事として発注されると、週休2日による施工に取り組みやすい（又は、取り組みにくい）と思いますか。 ご意見等があれば記入して下さい。

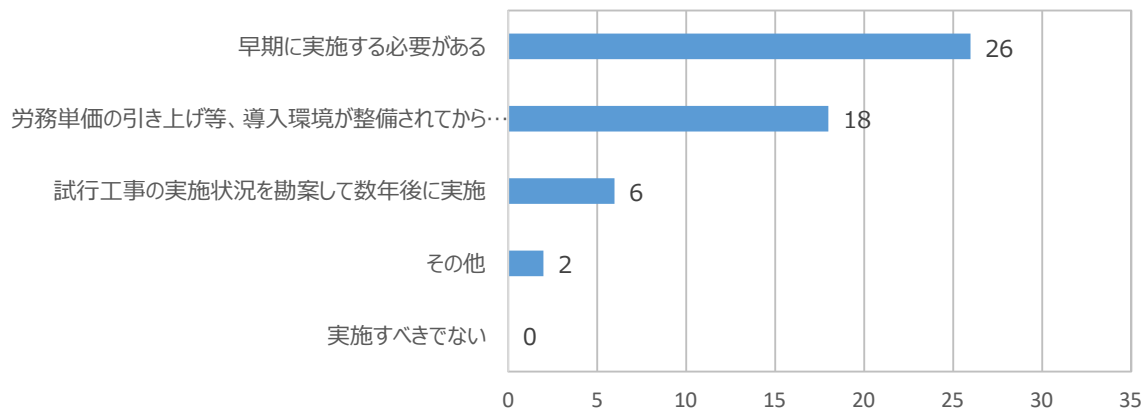
■取り組みやすい工事	計
・舗装路面改良工事、橋梁補修工事、開削工事（水道、下水道）、地下推進工事、シールド工事、仮復旧をする工事は安全が保たれるため取り組みやすい。	3
・緊急性の無い工事や、工事期間の調整が可能な工事	2
・発注時期が早い工事、フレックス工期の工事は取り組みやすい。	2
・新築、改修、解体が重複しない単体工事や、内部改修でも第三者の影響を受けない工事は取り組みやすい。	2
・在庫の豊富な機器を使用する工事は納入時期をコントロール出来るため取り組みやすい。	1

工事の種類	件数
舗装路面改良、橋梁補修、開削、地下推進、シールド	3
緊急性の無い工事や、工事期間の調整が可能な工事	2
発注時期が早い工事、フレックス工期の工事	2
新築、改修、解体が重複しない工事	2
在庫の豊富な機器を使用する工事	1

■取り組みにくい工事	計
・雨や降雪時期など天候に左右される工事は取り組みにくい。	7
・建物利用状態での改修工事や、集中できる期間（夏休み期間等）が限定されている学校改修工事、建築附帯の設備工事は建築工程の影響を受け過ぎるため取り組みにくい。	5
・地先との協議が影響する工事は、時期・時間の制約があり取り組みにくい。（市街地など）	3
・3月末しゅん工の工事や、工期内工期の定められている工事	2

工事の種類	件数
雨や降雪時期など天候に左右される工事	7
建物利用状態での改修、期間が限定される学校改修	5
地先との協議が影響する工事	3
3月末しゅん工や工期内工期のある工事	2

Q17. 建設現場に週休2日を本格導入する時期について、該当するものを次の中から選択して下さい。（複数選択可能）	計
1. 早期に実施する必要がある	26
2. 試行工事の実施状況を勘案して数年後に実施	6
3. 労務単価の引き上げ等、導入環境が整備されてから実施	18
4. 実施すべきでない	0
5. その他（全工事が週休2日を選択出来るようにしてから、法令による行政の支援が整ってから）	2



Q18. 建設現場に週休2日を導入するうえで必要なことについて、該当するものを次の中から選択してください（複数選択可能）	計
1. 余裕をもった工期の設定	32
2. 協力会社からの協力	15
3. 降雨、降雪などの気象条件に伴う柔軟な工期変更	22
4. 業界の意識改革	20
5. 技能労働者の給与水準の確保	21
6. 工事の発注時期	22
7. 人手不足の改善	20
8. 工事書類の簡素化	21
9. 現地状況を踏まえた適切な条件明示の徹底	10
10. 週休2日の達成に伴う工事成績評価等のインセンティブ	6
11. 積算基準の見直し	6
12. 施工時期の平準化	5
13. プレキャスト製品などの積極的な活用による生産性向上	5
14. ワンデーレスポンスの徹底	0
15. ICTの全面的な活用の推進	0
16. クリティカルパス等の情報共有	1
17. その他（半導体不足の解消による機器調達速度の向上）	1

